

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470204276		
法人名	有限会社ネクストライ		
事業所名	グループホームきらら		
所在地	広島県広島市中区千田町2丁目8-22 (電話) 082-545-5255		
自己評価作成日	令和4年2月17日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470204276-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470204276-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和4年3月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>『愛・笑顔・元気・安心』という施設目標・スローガンを掲げ、入居者様一人ひとりが輝き、生きがいをもって【普通の生活】を送るための支援を行えるよう、個々の想いや家族様の想いを大切にしながら、季節ごとの行事や日々のレクリエーション活動を行っています。今年度は新型コロナウイルス感染症まん延防止対策のため、地域行事が全て中止となっており、地域交流が思うようにできていませんが、職員が「ユマニチュード」を実践し、入居者様との距離を縮めて、入居者様に寄り添い、入居者様にとって施設が「我が家」になるよう、一人ひとりの居場所を大切に安心して生活できるよう支援しています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>コロナ禍にて地域行事や外出が困難な中、職員は「食」を通じて、利用者が不便さや寂しさを感じないよう支援に取り組んでいる。季節を感じ楽しい雰囲気の中で触れ合いながら広島味のラーメンやカレー作り、おはぎを丸めるなどの機会を工夫している。事業所としてのコロナ感染症対策について職員一人ひとりが強く意識し合い、また独自の不適切ケアチェック表を用いて、ホーム長と共に事業所理念とも照らし合わせ、職員一丸となって尊厳の実践に取り組み続け、強固なチームワーク作りに繋がった経緯がある。法人としての強みを活かし調剤薬局をはじめ医療連携に力をいれ、必要時には夜勤2名体制にする等、チーム長・管理者を中心に職員のスキルアップを図りながら、看取りケアに関しても力を入れている。</p>
---

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人理念を事業所理念として、朝礼・夕礼時に唱和を行なっている。又、理念を基に施設目標を作成し、入居者様・家族様へのサービス向上に努めている。地域に対しても職員に地域密着の施設であることを強く認識でき、地域の一員であることを自覚するために施設目標に織り込んでいる。	事業所理念をもとに、4項目の施設目標を挙げ、項目ごとに具体的な介護場面と連動させた指針を示し実践に努めている。成果として「利用者との会話時間が増えた・利用者が家族と疎遠にならないよう共に支え合う大切さを再認識した・地域の一員としての挨拶の実践」などが挙げられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事への参加・近隣保育園と入居者様の交流も定期的を実施していたが、現在は新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため、自粛している。日頃は地域のスーパーやコンビニエンスストアへ入居者様と散歩を兼ねて出かけていたが、感染状況を鑑み、現在は買い物は控え、散歩のみ実施している。	回覧板から行事の中止等、地域情報を得ている。これまで通りの地域交流は困難となっているが、散歩時には保育園児から声をかけられたり顔馴染みの地域住民と挨拶を交わしている。管理者は、事業所の立地環境に納得した高齢者からの利用相談などにも対応している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の社会資源である近隣保育園と施設の交流を月に一度、定期的に行っていたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため自粛している。また、地域のスーパーやコンビニエンスストア・公園へ行き、地域住民との会話を楽しんでいたが、感染状況を鑑み、現在は買い物は控え、散歩のみ実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	他事業所・地域包括・家族様・入居者様に参加して頂き入居者様の状況報告や施設の取組み・行事等を報告し意見交換や、助言を頂く場に行っているが、コロナ禍の中開催は中止し報告のみに行っている。今後も地域の人等を含め参加者を増やして、様々な意見を多く聞き、取り入れていきたい。	コロナ禍にて運営推進会議は開催できず書面による会議となっている。コロナ禍前の構成メンバーは、利用者・家族・近隣の介護施設の職員・地域代表・交番・社会福祉協議会・地域包括支援センター等であり、多方面から意見や情報を得られるよう工夫してきた経緯がある。	多方面からの出席者から、双方向の情報や意見を得てケアに繋げた経緯があり、現在の報告書の工夫を提案する。構成メンバーから質問・意見・助言をしやすい報告書を作成することによって更にケアに反映され、これまでの良い関係性が途切れることなく、今後に繋がると期待する。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の開催参加案内や開催後には内容報告を行っている。運営について相談や助言は随時行っている。	コロナ禍にて行政や地域包括支援センター主催の研修は中止となったが、書面による運営推進会議の報告を続けている。事業所におけるコロナ対策に関して積極的に連携をとり協力関係を継続させている。今後、行政による認知症アドバイザーの取得を計画し、社会貢献を目指している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を2か月に一度必ず実施していきながら、正しいケアを職員が自覚して実践できるよう『不適切なケア』『身体拘束』『虐待』が行われていないかのチェックシートを作成し実践している。 これを基に管理者を中心に個々に面談等を行なっている。	事業所独自で作成した自己チェックシート（友達感覚・威圧的な接し方など）を用い、職員の日頃の態度・声かけ・具体的なケアを振り返っている。会議では不適切なケアに繋がらないよう事例を検討し、時にはホーム長による個人面談を行い尊重をもとにより良いケアの実践に繋げている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	主に内部研修を実施している。外部研修への参加についても機会の確保に努めている。スピーチロックを始め、不適切なケアから始まる虐待を防止するためチェックシート等を利用し、職員の意識の向上を図っている。職員間のコミュニケーションを多く持ち、一人で抱え込まない環境づくりに努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修を行ない、権利擁護の知識を深めている。実際に入居者様の中に成年後見人制度を利用されている方もいらっしゃるため、日常の業務の中で理解をする機会がある。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項・運営規定を理解していただけるよう、説明している。その時点で質問があれば納得して頂けるまで説明・補足を行ない、その上で契約をしていただいている。 解約時は面談を重ね、十分な説明を行なっている。退居後の支援についても行なっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議にて率直な意見を聞かせていただいているが、コロナ禍のため運営推進会議自体は延期している。問題点や要望があれば早期解決を行い、報告をさせていただいている。カンファレンス時にも意見・要望を聞かせていただき、日常のケアに反映している。家族様には電話や手紙等で近況報告をしている。	面会や運営推進会議開催が困難な為、家族に直接、会う機会が激減しているが、以前から気軽に問い合わせや要望の電話があり対応している。「電話で利用者の声を聞かせて欲しい」との要望に対し迅速な対応に努めた例や事業所運営に役立つ目的で家族アンケートを実施した例がある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度代表者を含めた管理者会議があり施設の状況・意見も交換の場が設けられている。その後リーダー会議・ユニット会議等で情報共有されるようにしている。定期的な会議を開催し現場の日々の業務の改善に対する提案や意見聴取を行い反映させている。	ホーム長・管理者は会議に限らず「垣根を作らない」との気持ちで常に職員からの気持ちや業務改善に向けた意見を聴いている。サーキュレーターへの購入や職員からの他のユニットでの介護経験の希望により新たなユニット編成に繋げた例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員に対して個人面談を定期的に行い、スキル目標・一年後の目標・三年後の目標を聞き、業務に対する考え・意見の聞き取りを行い、給与査定・賞与査定の参考にしていく。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部・外部研修問わず、積極的な研修参加を促している。資格取得に関してかかる費用や研修費は会社が負担している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同法人内の他施設と研修を通じ様々な情報交換を行い、他施設の良いところを取り入れ、当施設でも取り組むことが出来ている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にご自宅・施設等に訪問をし、本人様・家族様と一回以上の面談を行っている。不安なこと・施設で生活される中でのご要望、職員がお手伝いさせて頂けることなど聞かせて頂きながら、顔を覚えてもらい関係づくりをさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居にあたり、見学時や契約時、面談の際に要望や質問へ応えるようにし、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	施設見学をしていただき入居様の状況を詳しく伺い、担当ケアマネージャー様からも聞き取りを行い、ケアプランを作成しサービスを開始している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の尊厳を守りながら、家族の一員であることを認識してゆくりと『普通の生活』をしていただけるように、朝昼夕の食事を入居者様と食べさせていただき、関係を構築している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設目標の中に『家族様と共に支援いたします』という目標を掲げ、面会に来られた家族様に状況報告を行う等、家族様との会話を大切にし、遠方の家族様には電話・FAX等で状況をお知らせし、家族様の要望を聞きながら、共に入居者様を支えていけるよう、関係を構築している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族様や親戚の方の面会、家族様との交流を大切にさせていただきよう、家族様に働きかけを行いながら支援している。また、月1回、入居者様にも直筆で手紙を書いていただき、決まった日に送るようにしている。書けない入居者様に関しては口頭で訊き、職員が代筆している。	時勢に合わせて短時間の家族面会が可能となった期間があったが、知人等と会う事が困難となっている。職員は馴染みの地名や観光地、店などを回想的に普通の会話に取り入れ、また家族宛のきさら新聞では、写真やコメントで利用者の様子がしっかり伝わるよう工夫を継続している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	各ユニットでレクリエーション・行事・外出支援等、交流が出来るようにし、ユニット内においても座る席を工夫し気軽に会話出来るよう考慮している。食器拭き・洗濯たたみ等をしていただきながら会話していただけるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後もその後の経過、ご様子等を電話でお伺いして、相談が気軽にさせていただけるようにしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の話を傾聴し、家族様が面会に来られた時に普段の様子等を職員から報告させていただいたり、カンファレンス時に本人様や家族様の意向を聞き、本人様の意向に沿えるようにサービスの提供を行なっている。現在、面会制限あるため、電話での情報収集に努めている。	利用開始時に趣味やどのような生活を望んでいるかを本人・家族から丁寧に聞き取り、連絡ノートで共有している。起床時間や食事時間を定めない生活や集団レクリエーションに参加したくない等の具体的な要望を把握後、柔軟に検討や対応を行い、介護計画に反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活の様子を本人様・家族様・担当ケアマネ様より情報収集を行なっている。他施設をご利用だった場合にはその施設に可能な限り出向き、担当者様からの話しも聞かせていただいている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録や申し送りノートに記入し、朝夕礼時、職員間で情報共有している。できない事よりもできる事に焦点を当てることでその方の力を発揮できるケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族様参加の担当者会議での意見、課題等をケアプランに反映して支援を行っている。訪問看護師と現場職員の間で連携が取れるように、医療連携ノートを作成してケアプランに反映できるようにしている。</p>	<p>計画作成者は本人・家族の想いや担当者から情報を得てアセスメント後、本人が励みになるような個別性を大切に介護計画作成に努めている。短期目標に伴うケア内容の実施は毎日、職員が記録し、3か月毎のモニタリング評価にて適切な介護計画を継続、或いは見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録に気になることや特変等を記録している。職員間の情報共有は朝夕礼時の申し送り、連絡ノート等を利用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>この1年間はコロナ禍の為、外出支援・個別支援として散歩・お買い物にお連れしたり、家族様との外食・外出は自粛しているが、希望に応じて昼食にカレーパーティー・お好み焼き会・お寿司の出前を行事の一環として開催をした。写真やお便りでご様子をお知らせしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>区民センター内にある図書館を利用したり、郵便局・スーパー・公園・神社等の地域資源を活用できるよう支援させていただいているが、コロナ禍のため外出は自粛している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>施設協力医への主治医変更の意向確認を契約時に行い、適切な医療が提供できる体制作りをしている。随時、関係者と連携をとり受診や往診を行っている。</p>	<p>契約時に施設協力医の説明を行い本人家族の意向でかかりつけ医を決めており、往診や家族同伴での受診が円滑に行われるよう医療連携ノートを活用している。同法人の薬剤師による正しい服薬介助に関しての研修を行っており、医療情報を日頃の適切なケアに反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師と現場職員の連携を図るため医療連携ノートの活用を行いながら、往診時に連絡の漏れがないよう工夫をし、24時間訪問看護師と主治医との連絡がつくような体制を取り、現場職員が指示を受けて対応できるようにしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は入院先の相談員、家族との連絡を定期的に行い、再入居に向けて準備している。また、定期的な電話連絡にて情報を病院関係者より提供していただいている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に看取りの指針の書面を通して重度化した場合や看取りに対しての話し合いを行っている。重度化された場合、医師・ケアマネ・管理者・家族様と担当者会議を行ない、その都度ご家族様の意向を聞き意向に沿えるようにし、グループホームで出来得ることを理解していただいた上で支援させていただいている。	契約時に重症化・終末期や看取り時の事業所方針を伝え、状況に合わせて本人家族の思いを含めて確認をしている。終末期には夜勤者2名にする等、ホーム長・管理者は本人家族や職員を支えながら充実したケア体制の構築を目指し、医療関係者と連携し合い支援に取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AEDの研修・緊急時の対応の研修を行っている。緊急時・事故発生時の連絡網を作成し、各ユニットに掲示している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練を行っているが、コロナウイルス感染症蔓延防止対策の為、実地訓練は1回のみ行い、あとは勉強会や施設内で自主避難訓練を行った。災害時には警備会社や、近隣住民にも協力していただけるよう連携を取っている。	避難訓練には利用者のほぼ全員が参加し、夜間や垂直避難を想定しながら緊急持ち出し表を用い臨場感をもって行っている。一時避難所での見守りに関して管理者は平素から近隣住民に協力を依頼している。業者による定期的な防災設備点検や法人内で連携し備蓄の整備にも取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介護保険法の「尊厳を守る」「自己決定」「自己選択」を職員一人一人に周知していきけるよう、施設目標に織り込み、トイレ誘導時・就寝時等、個人のプライバシーが守られるように支援している。又、スピーチロックが行われないよう、身体拘束委員会等で事例を取り上げ、職員に周知している。	施設目標に則り、職員は利用者の人生を尊重し孤独感を感じさせないケアを常に意識し、より良い対応に関して日頃から職員間で検討し合っている。また生活の中で、着替服や店のメニューから好きな料理を選ぶなど個別性に配慮しながら利用者の自己決定の機会を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様から話が傾聴できるよう施設内の雰囲気や気を配り、入居者様との会話を大切にし、想いを汲み取り、自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の介護度やレベルに合わせて個別レクリエーション・個別支援を行ない、入居者様主体の生活ができるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に季節に合った洋服を準備していただき、好みの洋服を着ていただいている。2か月に一度、訪問美容師にカットしていただいたり、希望に応じてカラーリングもしていただいたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	軽作業（食器洗いや食事の盛り付け、皮むき、お茶の準備など）や買い物等、保持能力を活かしつつ、楽しい食事となるよう職員が声かけ支援している。季節に応じて、カレーパーティーや善哉・手作りケーキ等を作り、目でも楽しんでいただけるよう、形・色合い等も工夫して提供している。	利用者と声かけ合って共に料理や片付けを行い、時にはお節やおはぎを丸めるなど季節を感じながら楽しみとなるよう「食の支援」に取り組んでいる。庭の野菜や店の食材を用いる事もあるが、通常は職員が工場に向いて味付けや食材を吟味した、外部委託の調理食材を活用している。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	管理栄養士が立てた献立を提供している。食事量は入居者様に適した量を提供し、水分摂取量は記録により管理を行ない確保している。入居者様の好みの水分(お茶・コーヒー・紅茶・ポカリスエット等)を提供し飽きないように摂取していただく工夫をしている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアの声かけや介助を行い清潔保持を促している。希望者には訪問歯科を調整し、診察してもらっている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用して、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。日中はリハビリパンツやパットを使用し、夜間帯はポータブルトイレも使用している。歩行可能な方は下肢筋力低下を防ぐため体操の中に足踏み等を取り入れ、生活リハビリを行っている。	個々の状態(身体状況・時間・量の変化・失敗の有無など)から適切なパットや排泄用具を選択し、当て方などの介護技術や生活リハビリを含めてアセスメントを重ね、利用者・家族の思いも推測しながら排泄の自立に向けた排泄支援をチームで行っている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取や運動を促し自然排便できるよう取り組んでいる。排便コントロールについては、主治医や訪問看護師と連携し行っている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	清潔保持の為、週2~3回入浴できるよう支援している。体調不良の方は清拭を行ない、手浴足浴等も実施している。入浴剤等を使用して入浴が楽しめるような工夫をしている。	週2~3回午後入浴を予定し実施しているが、個々の要望に合わせて柔軟に対応を行っている。柚子や入浴剤で香りを楽しみ、リラックスして浴槽に浸かりながら昔話や普段は話題にしない事を職員に話す事もある。	

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>時間に捕らわれず、入居者が自宅で生活しておられた生活リズムで施設でも過ごせるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬管理表を用いて服薬漏れがないようにしている。又、誤薬がないよう二重確認をしている。入居者様の前にて声を出して日にち・名前・錠数・○食後等の確認をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>家族様に協力していただき、嗜好品を持参していただき提供している。近所に買い物に行くなどの外出支援や、公園や近所の散歩を楽しんでいただけるように機会を作っている。コロナ禍のため、外出の機会を自粛せざるを得ないのが心苦しい。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍の為、家族様との買い物や食事、外出、外泊は自粛している。地域のスーパーやコンビニエンスストア、公園へ行き、地域の人々との会話を楽しんでいたが、感染状況を鑑み、現在は買い物を控え、散歩のみ実施している。天気が良い日は玄関先にて日光浴をするなど外気に触れる工夫をしている。</p>	<p>コロナ禍の為、今までのような外出支援（買い物・外食・観光地に行く等）は困難であり、現在は散歩での気分転換や玄関先で椅子に座って陽に当たる等の機会を大切にしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>紛失等の事故を防ぐため家族様と相談して事務所でお金を預かり、個々に必要なもの・外出支援の時に入居者様にお渡しして買い物を楽しんでいただいている。コロナ禍のため個別外出支援は控え、職員が代わりに入居者様の希望する物を購入するようにしている。収支は毎月家族様に報告させていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1階)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	毎月、家族様宛の手紙を準備し、できるだけ入居者ご本人に手紙を書いたいただき発送している。又、ご希望があれば電話をかけることもしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じた掲示物や装飾を行い、季節感を演出している。湿度は40%、室温は25度を保てるよう調整している。ソファを置いて寛げるようにしている。入居者様と共同して季節に応じた飾りを居間に飾るなど配慮している。	職員は温度・湿度・換気・利用者の訴えなどに配慮し空調を調整している。壁には季節の飾り物を貼り、各々が居場所となっているソファや椅子に座り調理の匂いや話し声が聞こえる等、家庭的な雰囲気作りに努めている。トイレや自室の場所を迷わないように貼り物などで工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間でも決まり事はなく利用者が自由に過ごせるよう配慮している。リビングにソファを置き、自由に座って頂き、テレビを観たり、おしゃべりをしたりされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居契約時には、慣れ親しんだものを持ち込んでいただき、居心地良く過ごせるよう工夫している。家族様の写真や入居前の馴染みのもの・お気に入りの品々を居室に置いて、安心して落ち着かれ居心地の良いスペースを作っている。フルーツや花のプレートをかけ、解りやすく識別できる工夫をしている。	身体に丁度良い居室の温度や湿度にも配慮し、職員は2時間毎に空調調整を行っている。使い慣れた寝具・座布団・DVD・広島カープグッズなどが持ち込まれている。利用開始前に自宅訪問し、転倒予防に配慮した家具配置や雰囲気等を参考にして、居室作りを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ユニット内にトイレ・洗面所・お風呂があり、解りやすく移動しやすい動線になっており、台所もユニット内にあり、食事を作る音や匂いが感じられるようになっている。		

V アウトカム項目( 1階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を事業所理念として、朝礼・夕礼時に唱和を行なっている。又、理念を基に施設目標を作成し、入居者様・家族様へのサービス向上に努めている。地域に対しても職員に地域密着の施設であることを強く認識でき、地域の一員であることを自覚するために施設目標に織り込んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事への参加・近隣保育園と入居者様の交流も定期的の実施していたが、現在は新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため、自粛している。日頃は地域のスーパーやコンビニエンスストアへ入居者様と散歩を兼ねて出かけていたが、感染状況を鑑み、現在は買い物は控え、散歩のみ実施している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の社会資源である近隣保育園と施設の交流を月に一度、定期的に行っていたが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策のため自粛している。また、地域のスーパーやコンビニエンスストア・公園へ行き、地域住人との会話を楽しんでいたが、感染状況を鑑み、現在は買い物は控え、散歩のみ実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	他事業所・地域包括・家族様・入居者様に参加して頂き入居者様の状況報告や施設の取組み・行事等を報告し意見交換や、助言を頂く場に行っているが、コロナ禍の中開催は中止し報告のみに行っている。今後も地域の人等を含め参加者を増やして、様々な意見を多く聞き、取り入れていきたい。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議の開催参加案内や開催後には内容報告を行っている。運営について相談や助言は随時行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を2カ月に一度必ず実施していきながら、正しいケアを職員が自覚して実践できるよう『不適切なケア』『身体拘束』『虐待』が行われていないかのチェックシートを作成し実践している。</p> <p>これを基に管理者を中心に個々に面談等を行なっている。</p>		
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>主に内部研修を実施している。外部研修への参加についても機会の確保に努めている。スピーチロックを始め、不適切なケアから始まる虐待を防止するためチェックシート等を利用し、職員の意識の向上を図っている。職員間のコミュニケーションを多く持ち、一人で抱え込まない環境づくりに努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修を行ない、権利擁護の知識を深めている。実際に入居者様の中に成年後見人制度を利用されている方もいらっしゃるため、日常の業務の中で理解をする機会がある。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項・運営規定を理解していただけるよう、説明している。その時点で質問があれば納得して頂けるまで説明・補足を行ない、その上で契約をしていただいている。</p> <p>解約時は面談を重ね、十分な説明を行なっている。退居後の支援についても行なっている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にて率直な意見を聞かせていただいているが、コロナ禍のため運営推進会議自体は延期している。問題点や要望があれば早期解決を行い、報告をさせていただいている。カンファレンス時にも意見・要望を聞かせていただき、日常のケアに反映している。家族様には電話や手紙等で近況報告をしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度代表者を含めた管理者会議があり施設の状況・意見も交換の場が設けられている。その後リーダー会議・ユニット会議等で情報共有されるようにしている。定期的な会議を開催し現場の日々の業務の改善に対する提案や意見聴取を行い反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員に対して個人面談を定期的に行い、スキル目標・一年後の目標・三年後の目標を聞き、業務に対する考え・意見の聞き取りを行い、給与査定・賞与査定に参考にしていく。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部・外部研修問わず、積極的な研修参加を促している。資格取得に関してもかかる費用や研修費は会社が負担している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同法人内の他施設と研修を通じ様々な情報交換を行い、他施設の良いところを取り入れ、当施設でも取り組むことが出来ている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前にご自宅・施設等に訪問をし、本人様・家族様と一回以上の面談を行っている。不安なこと・施設で生活される中でのご要望、職員がお手伝いさせて頂けることなど聞かせて頂きながら、顔を覚えてもらい関係づくりをさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居にあたり、見学時や契約時、面談の際に要望や質問へ応えるようにし、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	施設見学をしていただき入居様の状況を詳しく伺い、担当ケアマネージャー様からも聞き取りを行い、ケアプランを作成しサービスを開始している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の尊厳を守りながら、家族の一員であることを認識してゆくりと『普通の生活』をしていただけるように、朝昼夕の食事を入居者様と食べさせていただき、関係を構築している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設目標の中に『家族様と共に支援いたします』という目標を掲げ、面会に来られた家族様に状況報告を行う等、家族様との会話を大切にし、遠方の家族様には電話・FAX等で状況をお知らせし、家族様の要望を聞きながら、共に入居者様を支えていけるよう、関係を構築している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族様や親戚の方の面会、家族様との交流を大切にさせていただきよう、家族様に働きかけを行いながら支援している。 また、月1回、入居者様にも直筆で手紙を書いていただき、決まった日に送るようにしている。書けない入居者様に関しては口頭で訊き、職員が代筆している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	各ユニットでレクリエーション・行事・外出支援等、交流が出来るようにし、ユニット内においても座る席を工夫し気軽に会話出来るよう考慮している。食器拭き・洗濯たたみ等をしていただきながら会話していただけるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後もその後の経過、ご様子等を電話でお伺いして、相談が気軽にさせていただけるようにしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の話を傾聴し、家族様が面会に来られた時に普段の様子等を職員から報告させていただいたり、カンファレンス時に本人様や家族様の意向を聞き、本人様の意向に沿えるようにサービスの提供を行なっている。現在、面会制限あるため、電話での情報収集に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活の様子を本人様・家族様・担当ケアマネ様より情報収集を行なっている。他施設をご利用だった場合にはその施設に可能な限り出向き、担当者様からの話しも聞かせていただいている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録や申し送りノートに記入し、朝夕礼時、職員間で情報共有している。できない事よりもできる事に焦点を当てることでその方の力を発揮できるケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	家族様参加のカンファレンス・担当者会議での意見、課題等をケアプランに反映して支援を行っている。訪問看護師と現場職員の間で連携が取れるように、医療連携ノートを作成してケアプランに反映できるようにしている。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人記録に気になることや特変等を記録している。 職員間の情報共有は朝夕礼時の申し送り、連絡ノート等を利用している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	この1年間はコロナ禍の為、外出支援・個別支援として散歩・お買い物にお連れしたり、家族様との外食・外出は自粛しているが、希望に応じて昼食にカレーパーティー・お好み焼き会・お寿司の出前を行事の一環として開催をした。写真やお便りでご様子をお知らせしている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	区民センター内にある図書館を利用したり、郵便局・スーパー・公園・神社等の地域資源を活用できるよう支援させていただいているが、コロナ禍のため外出は自粛している。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	施設協力医への主治医変更の意向確認を契約時に行い、適切な医療が提供できる体制作りをしている。 随時、関係者と連携をとり受診や往診を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護師と現場職員の連携を図るため医療連携ノートの活用を行いながら、往診時に連絡の漏れがないよう工夫をし、24時間 訪問看護師と主治医との連絡がつくような体制を取り、現場職員が指示を受けて対応できるようにしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は入院先の相談員、家族との連絡を定期的に行い、再入居に向けて準備している。 また、定期的な電話連絡にて情報を病院関係者より提供していただいている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に看取りの指針の書面を通して重度化した場合や看取りに対しての話し合いを行っている。重度化された場合、医師・ケアマネ・管理者・家族様と担当者会議を行ない、その都度ご家族様の意向を聞き意向に沿えるようにし、グループホームで出来得ることを理解していただいた上で支援させていただいている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AEDの研修・緊急時の対応の研修を行っている。緊急時・事故発生時の連絡網を作成し、各ユニットに掲示している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練を行っているが、コロナウィルス感染症蔓延防止対策の為、実地訓練は1回のみ行い、あとは勉強会や施設内で自主避難訓練を行った。災害時には警備会社や、近隣住民にも協力していただけるよう連携を取っている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介護保険法の「尊厳を守る」「自己決定」「自己選択」を職員一人一人に周知していけるよう、施設目標に織り込み、トイレ誘導時・就寝時等、個人のプライバシーが守られるように支援している。又、スピーチロックが行われないよう、身体拘束委員会等で事例を取り上げ、職員に周知している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様から話が傾聴できるよう施設内の雰囲気や気を配り、入居者様との会話を大切に、想いを汲み取り、自己決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の介護度やレベルに合わせて個別レクリエーション・個別支援を行ない、入居者様主体の生活ができるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に季節に合った洋服を準備していただき、好みの洋服を着ていただいている。2カ月に一度、訪問美容師にカットしていただいたり、希望に応じてカラーリングもしていただいたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	軽作業（食器洗いや食事の盛り付け、皮むき、お茶の準備など）や買い物等、保持能力を活かしつつ、楽しい食事となるよう職員が声かけ支援している。季節に応じて、カレーパーティーや善哉・手作りケーキ等を作り、目でも楽しんでいただけるよう、形・色合い等も工夫して提供している。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>管理栄養士が立てた献立を提供している。食事量は入居者様に適した量を提供し、水分摂取量は記録により管理を行ない確保している。入居者様の好みの水分（お茶・コーヒー・紅茶・ポカリスエット等）を提供し飽きないように摂取していただく工夫をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアの声かけや介助を行い清潔保持を促している。希望者には訪問歯科を調整し、診察してもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を活用して、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。日中はリハビリパンツやパットを使用し、夜間帯はポータブルトイレも使用している。歩行可能な方は下肢筋力低下を防ぐため体操の中に足踏み等を取り入れ、生活リハビリを行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取や運動を促し自然排便できるよう取り組んでいる。排便コントロールについては、主治医や訪問看護師と連携し行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>清潔保持の為、週2～3回 入浴できるよう支援している。体調不良の方は清拭を行ない、手浴足浴等も実施している。入浴剤等を使用して入浴が楽しめるような工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>時間に捕らわれず、入居者が自宅で生活しておられた生活リズムで施設でも過ごせるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬管理表を用いて服薬漏れがないようにしている。又、誤薬がないよう二重確認をしている。入居者様の前にて声を出して日にち・名前・錠数・○食後等の確認をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>家族様に協力していただき、嗜好品を持参していただき提供している。近所に買い物に行くなどの外出支援や、公園や近所の散歩を楽しんでいただけるように機会を作っている。コロナ禍のため、外出の機会を自粛せざるを得ないのが心苦しい。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍の為、家族様との買い物や食事、外出、外泊は自粛している。地域のスーパーやコンビニエンスストア、公園へ行き、地域の人々との会話を楽しんでいたが、感染状況を鑑み、現在は買い物を控え、散歩のみ実施している。天気が良い日は玄関先にて日光浴をするなど外気に触れる工夫をしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>紛失等の事故を防ぐため家族様と相談して事務所でお金を預かり、個々に必要なもの・外出支援の時に入居者様にお渡しして買い物を楽しんでいただいている。コロナ禍のため個別外出支援は控え、職員が代わりに入居者様の希望する物を購入するようにしている。収支は毎月 家族様に報告させていただいている。</p>		



自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	毎月、家族様宛の手紙を準備し、できるだけ入居者ご本人に手紙を書いたいただき発送している。又、ご希望があれば電話をかけることもしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じた掲示物や装飾を行い、季節感を演出している。湿度は40%、室温は25度を保てるよう調整している。ソファを置いて寛げるようにしている。 入居者様と共同して季節に応じた飾りを居間に飾るなど配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間でも決まり事はなく利用者が自由に過ごせるよう配慮している。リビングにソファを置き、自由に座って頂き、テレビを観たり、おしゃべりをしたりされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居契約時には、慣れ親しんだものを持ち込んでいただき、居心地良く過ごせるよう工夫している。家族様の写真や入居前の馴染みのもの・お気に入りの品々を居室に置いて、安心して落ち着かれ居心地の良いスペースを作っている。フルーツや花のプレートをかけ、解りやすく識別できる工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ユニット内にトイレ・洗面所・お風呂があり、解りやすく移動しやすい動線になっており、台所もユニット内にあり、食事を作る音や匂いが感じられるようになっている。		

V アウトカム項目( 2階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームきらら

作成日 令和4年4月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍にて運営推進会議が開催できず書面による会議となっている。	構成メンバーから質問、意見、助言を表しやすい報告書を作成し、情報の共有と施設の取組みへの協力を得る。	ありのままの取組みを理解してもらうために専門用語などを使わずに写真などを使用し、意見交換がしやすいように工夫する。	一年間
2	4	家族との関係は良好なものとなっているが、定期的に意見や要望について表せる機会が確保されていない。	外部評価と運営推進会議を一体的に活かしていくこと。家族様アンケート等を定期的に実施する。	自己評価の内容と外部評価の結果について運営推進会議にてご意見をいただき、地域の理解と支援を得る貴重な機会とする。	一年間
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。